

フェーン緊急情報

令和2年8月23日
新潟県農林水産部

8月27日から28日頃にかけて、フェーンによる異常高温と乾燥が発生する恐れがあります。

フェーンが発生する前にかん水をはじめてください。

〔気象の見込み〕

- ◎ 新潟地方気象台が8月20日14時30分に発表した「高温に関する早期天候情報」によると、北陸地方では8月26日頃から、平年に比べ+2.6℃以上のかんりの高温になる予報です。
- ◎ また、8月23日5時に発表した「週間天気予報」によると、新潟県では8月27日から28日にかけて最高気温が37℃に達する可能性があり、県内の内陸部ではそれ以上になる場合が見込まれます。
- ◎ 気象庁の台風情報によると、8月23日8時40分現在、沖縄県先島諸島の西にある台風第8号は、発達しながら北上し、8月27日から28日にかけて本県に最も影響が及ぶ予想です。
- ◎ 今後、台風第8号が北上して、本県に接近した場合、フェーンによる異常高温と乾燥が発生する恐れがあります。

〔当面の管理対策〕

- ★ 中生・晩生品種では、登熟期間中の高温と乾燥は、乳心白粒等の白未熟粒の発生による品質低下につながるため、田面の状況を確認し、フェーンが発生する前にかん水をはじめめるなど、水管理を徹底してください。
 - ① 暗渠栓を閉じる、用水路の点検や水尻をしっかりと止めるなどの事前準備を進めてください。
 - ② 最新の気象情報を参考に、地域の用水利用計画を確認して、地域全体に用水が行き渡るよう、フェーンが発生する前から、かん水を始めてください。
 - ③ こまめに水回りを行い、水が行き渡ったら速やかに水口を止めてください。
 - ④ フェーンによる高温・乾燥が2日以上続く場合は、地域の用水利用計画を十分確認した上で、可能な限りほ場の水温上昇を抑えるこまめな水管理を行ってください。
- ★ 早生品種では、高温下で成熟期を迎えることから、胴割粒の発生を抑えるため、刈り遅れに十分注意してください。

農業用水は限りある資源です。地域全体で大切に使いましょう。